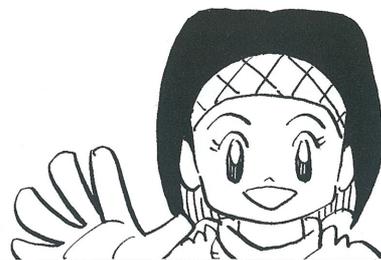


未来ちゃん

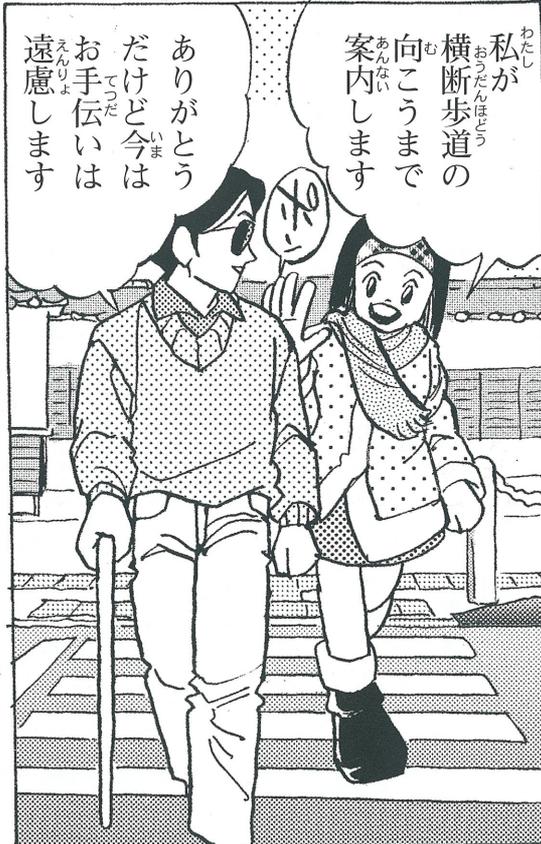
第7回 「お手伝いしましょうか」

作画 南一平



ぼくは
できるだけ
自分でできることは
自分でしようとして
心がけています

いつも
介助を待って
いたら
いざというとき
困るでしょ



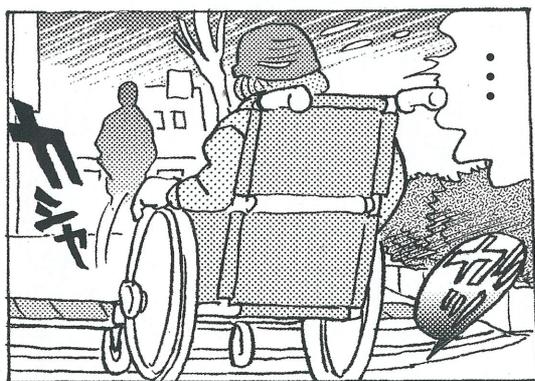
私が
横断歩道の
向こうまで
案内します

ありがとうございます
ただ今はお手伝いは
遠慮します



むずかしいなあ
・・・？
介助がほしい人を
見分けるのって

今までどおりで
いいんだよ
声かけるのを
忘れないようにね



えっ

それより
お嬢ちゃん
車いすの人が
困ってるんじゃない？



すごーい
私より
周りのこと
分かるんだ

早く
介助してあげて

おばあちゃん
お手伝い
しましょうか

人権まんが
解説

心のバリアのない社会へ

声をかけていいの？

未来ちゃんとはよく似た経験をした人も多いのではないのでしょうか。

まんがにあるように、障害のある人がいつも、介助を必要としているわけではありませんが。

でも、私たちが未来ちゃんのように、気軽に声をかけたり、介助したりできるようにすれば、ふれあいがさらに深まるでしょう。

本当に使いやすいの？

最近、バリアフリー化（段差などの障壁を解消）された施設が多くなりました。

しかし、私たちの身のまわりには、必ずしも安心して使えるものばかりではないのが現実です。

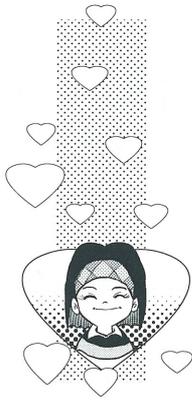
わずかな段差だけでなく、段差解消のために設置されたスロープ（傾斜した通路）で危ない経験をした人もいるかもしれません。

障害ってなんだろう？

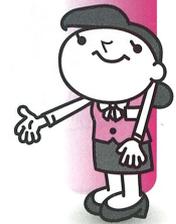
障害があるということとは、決して特別なことではありません。

例えば、ユニバーサルデザイン（すべての人々が使いやすい環境や製品のデザイン）がもつと普及すれば、障害のあるなしは問題ではないといえます。

むしろ、障害となっていないのは、私たちの心の中で勝手に障壁（バリア）をつくっていることではないでしょうか。



おしらせ



●入賞おめでとうございます！

・第五回笠岡市人権フォトコンテスト 入賞作品決定！

審査は十一月二十七日に吉田文化会館で行われ、最優秀賞一点、優秀賞二点、入選五点が選ばれました。なお、すべての入賞作品は「第十七回笠岡市部落解放文化祭」の期間中に吉田小学校体育館（第二会場）で展示する予定です。

入賞された方は次のとおりです。

- 最優秀賞 小林紀子さん（倉敷市大内）
- 優秀賞 山河菊野さん（笠岡市飛鳥）
- 入選 小土井英雄さん（広島県福山市）
- 水田廣美さん（笠岡市押撫）
- 村平暢夫さん（笠岡市笠岡）
- 西島和子さん（浅口郡鴨方町）
- 太田浜枝さん（広島県福山市）
- 村上佳子さん（井原市木之子町）

●第十七回笠岡市部落解放文化祭

日程 三月五日（金）～七日（日）

午前九時～午後七時 ※七日（日）は午後五時まで

会場 笠岡市吉田文化会館（第一会場）

笠岡市立吉田小学校体育館（第二会場）

※第二会場は六日（土）～七日（日）；開催時間は未定
内容 人権・同和問題解決に向けた教育・文化活動等の学習成果発表、各種団体の展示、啓発パネル展、販売コーナー ほか

◆人権を考える集い ～人権を考える講演会～

日程 三月七日（日）午前十時～十二時

・教職員人権教育指導者講座生によるアトラクション

・講演『これからの部落問題』

講師 角岡伸彦さん（ノンフィクションライター）

※ 要約筆記通訳・手話通訳があります

会場 笠岡市立吉田小学校体育館（第二会場）

※都合により内容、時間等を変更する場合があります。

☆現在、笠岡市ホームページ (<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/>) から、次の情報をご覧いただけます。（三月初旬まで掲載予定）
・第十七回笠岡市部落解放文化祭のお知らせ ・第五回笠岡市人権フォトコンテスト入賞作品

紙面を充実させるために、皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。

平成16年1月10日発行

笠岡市吉田文化会館 電話(65)1069 ファックス(65)1933